

正多面体 正八面体

正多面体は4面体、6面体、8面体、12面体、20面体の5種類しかありません。4面体、8面体、20面体は、正三角形の面で構成されています。6面体は正方形の面で構成され、12面体は正五角形の面で構成されています。正三角形の6面で立体ができますが、これは正6面体ではありません。

正6面体はサイコロでお馴染ですが、他の4種は馴染が少ないので、型紙を作ることになりました。

石井未来館館長 石井峻
<http://ishii-miraikan.com>

各面の記事

正三角形の8面で構成されています。そこで、八個で一組の言葉を探しました。南総里見八犬伝の「仁義礼智忠信孝悌」も候補として考えましたが、日本古来の八方位の呼名を選びました。呼び方は、十二支に基づいていて、北から東回りで、北を子、東を卯、南を午、西を酉とし、残りの干支の八個を二つずつ続け読みしています。続け読みする四つの文字は、八卦(乾兌離震巽坎艮坤)から借用しました。丑と寅の間を艮、辰と巳の間を巽、未と申の間を坤、戌と亥の間を乾と呼びました。巽と乾は名字としても使われていますので、ご存知の方も多いでしょうが、艮と坤の二字は、初めて目にする方も多いと思います。

文字の配置

相対する面の和が9になるようにしています。ここに北から東回りに昇順に並べるのも一つの方法ですが、前半は昇順に、後半は降順に並べる方法を取りました。こうすると、相対する面に逆方向の方位を示す事ができます。

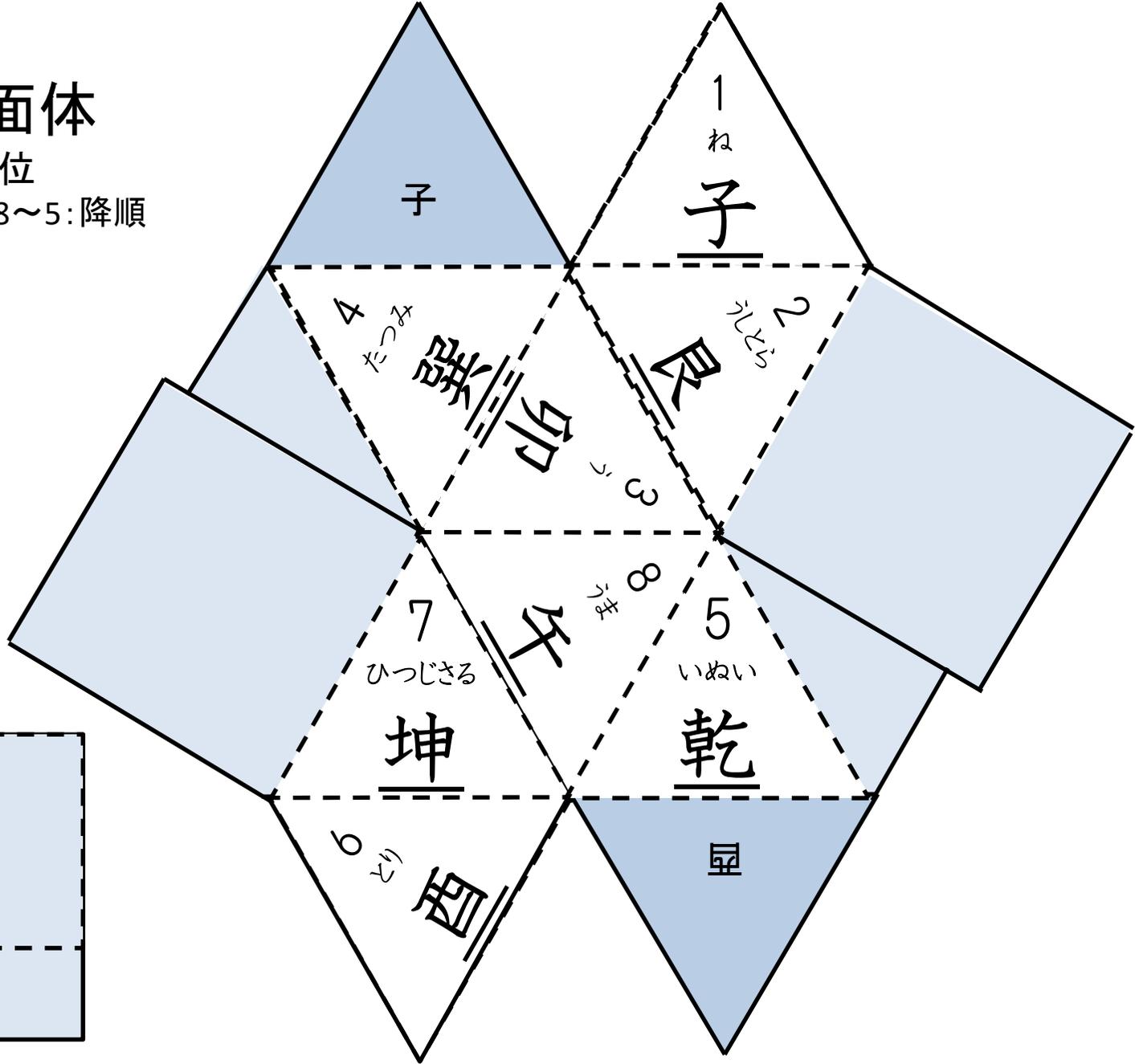
組み立て方

説明しなくても四角錐が二つ繋がったものが作れると思います。これを折畳み、合せ目に楔を入れれば完成です。

正八面体

八方位

1~4:昇順、8~5:降順



楔

